

横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

〈知的発達〉

E6	E5	E4	E3	E2	E1	簡単な計算可
D6	D5	D4	D3	D2	D1	簡単な文字・数字の理解可
C6	C5	C4	C3	C2	C1	簡単な色・数の理解可
B6	B5	B4	B3	B2	B1	簡単な言語理解可
A6	A5	A4	A3	A2	A1	言語理解不可

〈特記事項〉

C: 有意な眼瞼運動なし
 B: 盲
 D: 難聴
 U: 両上肢機能全廃
 TLS: 完全閉じ込め状態

寝返り不可
 寝返り可
 座位保持可
 室内移動可
 室内歩行可
 戸外歩行可

〈移動機能〉



が私たちの社会の一員である認識も深まります。そして、その人の人権、個の尊厳を護る意識も自然と高まります。このように、優生思想との決別の思いを今新たにしています。

幼児の成長発達

宇野 千恵

おおぞら知育園「めばえ」は月曜日から金曜日の午前中、毎日同じ時間、あおばの入室で活動しています。職員がめばえで使用するキーボードを用意し始めると、Aさん(6歳 横地分類B6)がそれを見て近寄ってきました。「椅子を持ってきてね。」と声をかけると、少し早足にいつも知育園で使っている自分の椅

子を持ってきました。何が始まるのか分かってきているようでした。開始前に職員がキーボードの音を出しているとその周りを嬉しそうに飛び跳ねたり、手を合わせながら声を出したりしていました。そしてみんながそろい、朝の会が始まると椅子に座りました。



職員が朝の会のはじまりの曲をキーボードで弾きはじめると、曲に合わせて手拍子をする子、歌に聴きいるよう動きを止める子、キーボードを弾いている職員のほうをジッと見ている子と様々です。歌を歌う事でそれぞれが今から知育園が始まるということを感じています。朝の歌が終わると今日の日付のカードをホワイトボードに付けたクリアファイルの中に入れていきま

す。「入れてくれる人いますか?」と声掛けをするとAさんが手を上げ立ち上がり、カードを入れます。その様子を見ていたBさん(6歳 横地分類B2)がある日、声を掛けるとはにかんだような笑顔で一瞬手を上げました。いつもならあまり触った事のないものには触れようとはしませんが、その日はカードを自分で持ち、職員と一緒にケースの中に差し込んでいました。その場にいた職員みんなに「すごいね」と声を掛けられ注目が集まると、再びはにかんだような笑顔になりました。今では「カードを入れてくれる人いますか?」と声をかけると自分の出番とばかりに手を上げています。他児の行っていることを見て、自分もやってみたいという気持ちになったようです。

めばえでは週替わりでボール遊び、紙遊び、絵の具遊びなど数種類の遊びを順番で行っていきます。紙遊びの日にはCさん(5歳 横地分類A2)は少し遠い場所所以他児が紙ちぎりをしている様子を見つめていました。横にいき新聞紙を見せると、少し見つけた後でゆっくりと手を伸ばし片手で新聞紙の端をぎゅつと掴みました。職員が

反対の端を掴み、上の方にゆっくり動かし破つていくと、破れていく裂け目をよく見ていました。手は新聞紙を握ったままです。破れる振動を手から感じているようでした。その様子を見ていたDさん(6歳 横地分類A2)が近づいてきました。Cさんの持っている新聞紙が気になるようで、強引に取るうとしました。CさんはDさんを棒状にして2人で持つて引つ張り合いが出来るようにしました。力の強いDさんは1人でもって、Cさんと職員がもう片方をもって引き合いました。Cさんも手を離すことなく引いたり引かれたりの動きを感じているようでした。

